

## 1年部” Where there is a will, there is a way.” より

6月10日 (土) 進路講演会が行われました。ベネッセコーポレーションの平田さんからの話は、まず自転車を描くことから始まりましたが、3つの必要なもの、覚えていますか？前輪 (進路)、後輪 (学力)、そしてフレーム (学習習慣) でした。講話の内容をここでまとめるのは難しいので、印象に残った平田さんの言葉をいくつか取り上げてみます。

- ・「進んでやるのは上の上、真似てやるのは中の中、言われてやるのは下の下、言われてやらぬは黙って去れ」
- ・「どうせ〇〇だし〜」…自分の可能性を狭める
- ・「練習はウソをつかない、っていう言葉があるけど、『頭を使って練習しない』と普通にウソつくよ」
- ・セルフコントロールできる人は人生を大きく変えられる
- ・スキマ時間を見つける工夫
- ・「授業」中心の学習サイクルの確立を
- ・「英語」を毎日学習する生徒は現役合格する生徒の特徴の一つ
- ・1年生の1学期、可能性は無限大、それを活かすのは自分自身 etc...

教務部松田先生、進路部高林先生からの文理選択、科目選択についての説明もしっかりと聞いてくれたと思いますが、予備調査提出は6月30日 (金) までということで、それまでに進路研究をしっかりと行ってください。

## 2年部「6月決起集会」より

県高校総体も終了し、部活動によっては新体制がスタートしているのではないかと思います。2年生の部内での責任も増し、心のウェイトも部活動寄りになっている人も多いかもしれませんね。ここで忘れてはならないのは、自分たちもあと約1年で本格的な受験勉強に入っていくのだ、ということです。そこで「あと1年たって劇的に学習時間が増えるから今は部活に集中！」なんて甘いことを考えていると、あとでえらい目に遭います。というのも、部活動がなくなったからといって、家庭での学習時間が多く確保できる、ということにはなりません。というのも、放課後課外 (~19時過ぎ) が入ってきますので、週末の家庭学習時間は増えても、平日の学習時間は増えないからです。ですから今、部活動で疲れて帰宅したとしても、その後の時間をうまく利用できるようにしておかないと、2年生での積み残しを3年生で取り戻そうなんて夢のまた夢、ということになってしまいます。今の皆さんに出来ることは、①1, 2年次に学んだ国数英の基礎固めを行うこと。②予習復習だけで宅習時間を消費しないで済むよう、授業中に集中して学習内容の理解を図ること③自宅での時間の使い方 (学習のパターンなど) を確立させておくことですよ。「習う」から「学ぶ」へ、主体的に活動しましょう。

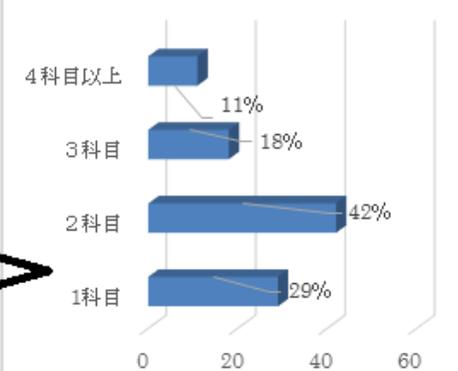
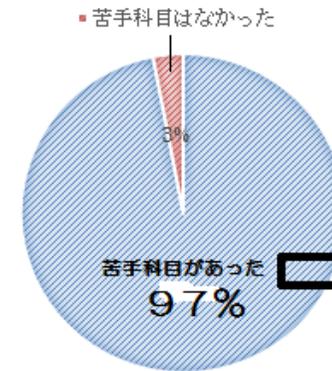
## 3年部より 大学合格者の基本的な傾向

～大学合格者の実態調査より～

### 受験勉強の初期段階

Q 受験科目に苦手科目はあった？

Q 苦手科目の数は？



### 大学合格者の傾向①

受験勉強の初期段階では、約7割の生徒が、2科目以上が苦手だった。大学合格者も、苦手を抱えながら、その克服に努めたことがわかる。

### 受験までに

Q 苦手&弱点を克服できた？



大学合格者の傾向② 苦手&弱点を受験までに克服。

## 「目の前のつらいことから逃げないことから始まる。」 6/6 岡村先生より

1学期末考査前、夏休みの3者面談も直前のこの時期、6月のマーク模試が終わり、苦手や弱点科目の対処に、悩んでいる人も多いかもしれません。それは、大学に合格した先輩たちも同じです。彼らも、多くの苦手を抱えていました。しかし、きちんと向き合っ、できる限り克服した上で、受験に臨んでいます。

定期考査は、既習内容を身に付かせる絶好のチャンスです。苦手な教科・分野ができるようになるまで、準備をして期末考査に臨みましょう。受験勉強は、特別なことではなく、日々の授業をパーフェクトに理解することです。

